

栃木県日光市

- ①老朽ベンチの座面改修
- ②公衆トイレ付属 老朽木製ベンチ改修
- 公園東屋 木製縁台新設

【概要・アピールポイント】

- ①令和4年10月開催「いちご一会とちぎ国体」の軟式野球大会会場の固定式ベンチの座面を改修し、レガシー案内板を設置して、全国からの来場者をおもてなし
- ②「世界遺産日光の社寺」にアクセスする西参道と、「ラムサール条約」に登録された「奥日光の湿地」に位置する湯滝の公衆トイレに付属する木製ベンチの改修、37Kmに及ぶ世界一長い「日光杉並木街道」内の杉並木公園休憩所の木製縁台制作に活用し、国内外からの来訪者にレガシーをPR

■ 資材提供のきっかけ

林野率が8割を超える森林資源の豊かな当市は、「木材をとおして森づくりを売る」ため持続可能な森林経営をラベリングする森林認証の取得に注力し、「日光の木」のブランド化に取り組んできた。「日本の木材活用リレー」を契機に、国産材、森林認証材が注目を集め、林業木材業の活性化や森林保全の一助になることを期して市有林を伐採し、製品化して提供することとした。

■ 提供した木材の概要

スギ（無垢材）

■ 用途

- ①老朽ベンチの座面改修（計7基 材積1.25m³）
- ②公衆トイレ付属 老朽木製ベンチ改修（2か所 材積0.3635m³）
公園内休憩所 縁台設置（計4基 材積0.959m³）

■ 用途決定までのプロセス

- ①世界中のアスリートやパラリピアンが過ごした選手村の建材をレガシーとして「いちご一会とちぎ国体・障がい者スポーツ大会」に活用したく関係課と協議し、用途を決定。
- ②評判が伝わり各課から相談を受ける中、露出度を考慮して日光観光課の西参道、湯滝のベンチ修繕、維持管理課の杉並公園休憩所の縁台設置の決定に至る。

■ 完成/使用開始時期

- ①2022年3月
- ②2022年10月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①所野運動公園
- ②西参道（山内地内）湯滝（湯元地内）杉並木公園（瀬川地内）

■ 完成まで・完成後のエピソード

返却木材の再利用のため、寸法や数量など自由度が狭い中、職人の技術と経験により再利用とは思えない出来栄となった。

金属ビス跡の穴の開いた部材が多数あるが、うち1本に目視で確認できない深部にビスが折れ残っており、裁断時にモルダー損傷の報告があった。一緒に木材提供した栃木県と鹿沼市に注意喚起を行ったが、再利用であることを再認識させられた。

1964年の東京オリンピック以前に植栽したスギが、2021年に選手村に活用されてレガシーとなった。次に国内開催を迎えたときにも木材を提供できるよう、森林資源を次世代に引き継ぐ持続可能な森づくりに取り組んでいきたい。

問合せ先

農林課 林政係

電話：0288-21-5104

① 老朽ベンチの座面改修（所野運動公園） 国体会場



改修前の固定ベンチ 計7基



改修前の座面



改修後のベンチ



改修後の座面



上 刻印 下 返却形状を活かす



レガシー表示

②-1 公衆トイレ付属 老朽木製ベンチ改修（西参道） 世界遺産



改修前のベンチ 計2基



改修前の座面 基礎に座面を直接ボルト止め



採寸 ボルトが固着し、コンクリート基礎に直付けできない



コンクリート基礎と座面の間に台座を入れて高さ調整



改修後



レガシー表示

②-2 公衆トイレ付属 老朽木製ベンチ改修（湯滝）ラムサール条約



改修前の女子トイレベンチ



改修前の男子トイレベンチ



改修後の女子トイレベンチ



改修後の男子トイレベンチ



ベンチ座面



レガシー表示

②-3 公園東屋 縁台新設（杉並木公園）特別天然記念物 天然史跡



東屋(旧カラクリ水車小屋)



東屋(旧ペンダント水車小屋)



大型縁台 1基



小型縁台 3基



刻印とレガシー表示



レガシー表示